平新報

發行日 毎月三回 五ノ日發
編輯兼發行印刷人 山野邊庄吉
福島縣平町四丁目十五 發行所 平新報社
廣告料 五號十二字詰一行 一回五十錢 場所指定倍增
一部 定價金拾錢 送料 五厘

縣會選擧投票日に當り
人情と正義觀を鈍らしめず
人物本位、良心に恥ぢぬ
參政權の行使を求む

人衆審判の日、縣會議員選擧投票日は愈々本日となつた二郡下四萬有權者の筆先はどう動くか、彼當選六名を目懸けて八名の勇者は演說會に、文書戰に精く鬪つた、各演說會とも聽衆又これ熱心に押しかけて彼等の言はんとする所を聽いたが彼等の言ふ應援辯士の叫ぶ事は總て他候補の惡舌か然らずんば反對黨の柵下しに止つて居つて吾人の聽かんとする現前の不景氣、生活難をどうしたら切り拔け得るか、より良き生活をなし得るか、善政をどう布くかてふ事を力說するものが尠なかつた樣である。今更各辯士の演說の批判はなさぬ事にするが、この意義ある選擧日に棄權せぬ限り、本郡有權者は八名の立候補者に權利の行使をせねばなるまい、此處に於て理想と實際はどうする事もならず、理想の人物出でずとせばそれに近き人を選ばねばなるまい。情實を排せ、既成政黨と申しても現前の政界の實際の潮流は政、民二大政黨に左右されて居る事は何人も認めてゐる。

然らばこの政民兩黨いづれの政黨が良しいか、善政を布くか、罪惡が尠きかといふに在る、民政黨から云ふ所はこの不景氣、生活難の世相は政友會の放漫政策が因をなした事に因るもので民政黨現內閣の罪でないといふて居る。政友會に云はしむると現內閣の政策が惡いからだといふ、どつちにしろ不景氣たる事は實實で生活難、不景氣の聲は年々激しくなる、兎に角不景氣の因をなしたるものは政友內閣時代にあつたとしても民政內閣現はれて二年有半其間どうして明るい正しい政治をなし得ないのか、やれ一家心中、就職難、失業者、共產黨の跳梁等、どう見ても明るい政治とは評し得ぬのである。

已れが有する選擧權の行使に當りて、即ち參政權の運用に際して、先づ第一番に考へねばならぬは既成政黨二大黨を認めるとせば、いづれの黨を選ぶか、第二にその黨立候補者中どの候補が人格的で識見あり、地方事情に精通し、吾人の代表として適し公僕となり得るかの點である……が情實を絕排せと申しても、己れの知らぬ人より知つて居る人人格なき候補より人格ある人を選ぶのがこれ人間共通の人情と正義觀であらねばならぬ。啻々金錢其他の件で買收さるゝ事は良心に問うて恥とせねばならぬ、○×者や人道上許し難き脊德漢の候補者を、文書や演說に人格者たり、私利私慾のため公職を亂用して利權に寧日なき候補者をして諸君の公僕だ等と推賞推薦するに至つては、それが知らぬなら未だしも、知つて敢てなすに至つては吾人はその推薦者の心根が解せぬもので各有權者をして迷はしむるも甚だしいと申さねばならぬ、要は政黨を離れて人物本位で吾人の有する參政權を行使するが最も理想に近き實際の普選てふ參政權を生かすものであり、これ地方のため政界をして廓清するものである。

正しい人が勝つか、惡るくても力のある人が勝つか、これは大衆の批判であつて大衆が好むに從つて勝敗は決せられるもので、この腐敗尖銳化した世相では何でも彼でも力のある人々の政治家を欲求する有權者が多いかも知れぬ、吾人は熱求すらくは、○×者や人[illegible]破壞者を縣會議員等との公職に在る指導階級の席には就かしたくない、第一立候補する等とが已れを知らざるもので、政黨自体が公認する等とは沙汰の限りである、がこれ現在は惡人にしろ何しろ勝てば良い、力があれば良いといふのがそれであつて、心ある識見者は馬鹿らしくて立候補等とせぬからこういふ事になるのだが、此際吾人有權者は眞に靜觀して、人情と正義觀を鈍らしめず、自己の信賴するに足る人物本位に良心に恥ぢざる權利を行使すべきを繰り返しで力說するものである。

考古・趣味
蒐集家管見（4）
黑猫生

諸橋久太郎氏　釜屋の旦那と聞いたら趣味等は誰でもないと思ふ人が多いがあれで仲々血の氣が多い我樂倶多組だ、第一指は山內一樂宗で祖父の遺心を受けたのか一樂であればどの作であらうが駄作だらうが隨分集めて居るようだ、其他弟子の可樂等もある可樂の三幅等は可樂一生の作かも知れない、鄕土保護の第一人として趣味の又第一人者であらう。

田町鈴木齒科　醫者と云ひば昔は幇間的な人間が多いが氏は又一風變つて金も金！延べ金の刀劍趣味！最近の蒐集で新刀には仲々良きものが多いそうだ。

賀澤忠治氏　共濟病院で名は高い、世間の人は種々と云ふが趣味のことを知る人は少ない、彼れで近代の樂天等と來たら目も鼻もないが、心は王章黨で氏の家に訪ずれるものなら早速玉章の軸を出して彼の黑い顏に鼻高か高かと御茶菓子タツプラ天狗となつて畫ならば玉章でなければ早速追ひ歸へされそうだ。

×光線科
平南町　電話一二九番

平町田町
御料理　竹本

小名濱町
小名濱登記所長
佐々木善作

冬の通學服
當店特製。黑小倉通學服を豊富に取揃へて御座ひます。
長ツボン付
小學生用……Y0.85ヨリ
同（特製）……Y1.90ヨリ
中學生用……Y2.80ヨリ
平二電203
おかや洋服店

混砂搗白米販賣禁止（滋賀縣下）
山野邊無砂搗精米所
電話三一八番

平町川岸通平舘向
會田美髮所
電話四四四番

度量衡販賣
液體空氣會社製
酸素含有量（百分中九九、五）
（東京工業試驗所證明）
吸入用酸素、酸素吸入器
正確体温器 寒暖計
開內藥局
電話四〇番

商品券
共通御利用願上ます
マルトモ書店　平町四丁目　電話二三四番
マルトモ運動具店　電話五九七番
マルトモ食堂　電話一二三番

平町大町
磐城無盡商會

平町大町
醫學博士　難波睦

政治は正義にして光明ならざるべからず

この理想を現實化し得る井上茂作氏を推すの書

左は四年前昭和二年の縣議戰の立候補當時の同氏後援會の趣意書である、事古きに屬するが氏の經歷人格の一端を知るに適切なる文なれば此處に再錄す。

縣會議員候補者
井上茂作氏

政治は正義にして光明ならざるべからず、此理想の國民生活の上に現實化したるものを光明ある政治と稱すべし、故に政治を談ずるものは少くとも政治とは國家が最高道德を行ふ機關であるとの公德的概念を有たねばならぬ筈である。

然るに普選に直面したる今日尚ほ政治の要諦を解せず權謀術數を事とし私利と權力推持のためには陰謀毒殺敢て手段を撰ばず、即ち是が政治家の力量であり亦手腕である如く思惟するに至つては沙汰の限りである見よ既往に於ける政界の實相を陰謀黨脫利權泥試合曰く何々と恰も我國の政治は一の罪惡史なるが如き感あり其醜態を國民の眼前に悉く曝露せられたり誰か之れを慨せざるものあらん邦家民生のため此僞善者と惡魔とを征服する覺悟なかる可らずとは氏の每に謂ふ處なり起よ選擧民醒よ國民吾人は正義に生き光明に生く氏は洵に至誠の人格者なり、正義の勇者なり一度び壇上に立てば談論風發血湧き肉躍るの槪あり、縣會隨一の雄辯家と稱せらる此雄辯此熱血と崇高なる人格と至誠とを以て縣政に當る、蓋し何ものか克つものあらむ、氏の抱負經綸は該博遠く凡備の及ぶ處にあらず而も縣政に功績多く、殊に縣の財源に乏しきを憂ひ水利使用税の課税を提唱し縣民の負擔を輕減せしめたる如き縣政史上に特筆して感謝すべきである、氏十年一日の如く東奔西走し心血を注ぎたる大日本消防協會は組織全く遂成し內務大臣會長の下に氏は幹事の要職に上げられたり。消防制度の改善組員の待遇等國家的に解決せらるゝの機會は偉大なる氏の力によつて創設せられたりと謂ふべし、氏は創造的知識に富み研讚怠らず曾て某新聞の評論に氏は博學宏辯にして毒素なしと眞に穿ち得たるの適評なり。氏は誠に淡々たる水の如き高潔の士なり而して時代思潮の識見卓越するものあり現代稀れに見る逸材政治家的要素を具備する人物なりと推擧するに憚らざるなり要するに吾人同志は茲に後援會を組織し團體的に氏を應援するの機關を設け氏の力量と手腕と高遠なる理想とを政界に活躍せしめ正義の勇者を第一線に立たしめることは少くも時代に適應した考ひなりと信ず來れ同志奮つて贊助あらんことを。

郡下八候補の狀勢は如何

政三、民三、民政部會兩派の勢力爭ひといふデリケートな戰ひをなしつゝある政戰に當り各候補の狀勢はどうか先づ八候補中いの一番に

井上茂作氏

氏は初めから出馬せぬと言明し後身に讓つて幹事長として善戰する心算であつた事は自他ともに信じて居つたが御鉢は終に氏の晩節を飾るべく黨として將亦平町として余儀なくされ敢然として立候補を宣言するに至つた故に自己一身としての政戰の準備はせなかつた事の弱味はあるが氏の出馬に産婆役としてその衝に當つた關內正一氏が總參謀格として寧日なき努力と鈴木辰三郎氏も緊務の中から歸鄕して遊說怠りない、過般の得票から見れば鈴木氏の勢力と併せて優に第一位であらねばならぬのだが舊政友の票も田子氏に走るとされて居る此の間に在つて關內氏等がどの點まで井上氏に集め得るか觀物である。

萩原義雄氏

氏は萬人ともに今回は立候補するものとし氏にもその準備があつた事比佐代議士の勢力を以つてしても壓倒的成果を納め得る立場に在るが氏は長野縣人の人、當地には緣戚は尠くないが初舞臺の新人として油斷があるまいから相當の得票を集め得るものであらう、比佐氏を會長とする其派の團結が觀物である。

野崎滿藏氏

氏は是が非でも出馬は判り切つて居つた程準備が怠りなかつた殊に過般の衆議戰に氏は家氏を推した當時か民政派の分派當時からその深度を加ひ今日に及んでゐる殊に地盤剛『これは違反であるが』等とないから全郡に亘つて集めたであらう加ひて玉川村出身は勿論現縣議として候補者は氏一人四年間の努力前者の緣者、後者の反影は實に氏のみ有するの如く殊に自動車は自己のもの、この資金の節減等にて第一位の榮冠かも知れぬ

田子健吉氏

氏は野崎氏と等しく出馬の意志は十二分、佐藤後援會長として隨分以前から準備に準備、用意周到なるものがあつて全郡に亘り運動員は細微に至り、良くもかく用意せるかに驚かされる、加ひて政友會が議員の代りとして披露して居る關係上、山崎吉平氏其他が氏に參劃して居るから野崎氏以上の成績を上げるやも知れぬ。

松本清之丞氏

氏は現に全國勞農大衆黨磐城支部長だが無產運動に入つたは此の頃温厚なる氏であるが此の頃なか〳〵眞劍になつて來、湯本町出身の氏をして其黨以外の同情は相當あるべく、ハガキ一枚の文書戰をなさず終始一貫否戰を以つて精くも續いたもので相當成果を觀る事であらう。

草野三郎氏

民政黨の長老として知られて居り若松美三縣議の代りではあるまいが若松氏と等しく赤井村方面山手を根據として根强き勢力があると稱されて居る、選擧は水もの開けて見ねば判らぬ事人氣は結果に於て反つて反比例する事があるから老武者氏の努力こそ人氣を裏切る事となるであらう。

石川德壽氏

氏は其派民政黨の副會長たり御大比佐代議士の地元より現はれ、郡南を根據として地盤からせば當落圈外[illegible]で治外法權！安心して可なりだが植田方部の人にあらず野崎氏が全郡に亘つて居る關係上どこまでの得票を得るか鷲清昇氏其他郡南共派の努力こそ反影となつて現はれるであらう。

赤坂毅一氏

氏は古川氏の代りにとか上遠野村の名望舊家であり田子氏と等しく緣者もなか〳〵多い、參謀長の古川氏を初め郡南黨員の結束固く第三位とは下らぬ成果を見るであらうと待望されて居る。

話耳目

選擧日は本日だが當落の判明は二十七日であらふ泣くも笑ふも一兩日であつて投票日の今日になつても選擧すべき候補者も確定せぬ有權者が多い事であらう、選擧界の魔の手は官權の〇〇は深刻化しつゝあるとの事である此の際有權者諸彥は確固たる信念の下に如上の誘惑と權力に打ち勝たねばならぬ。これが政治を明るく正しくし吾人の生活を向上させる事である。だがこれは理想論であつて實際は殊に農村僻地に至りては多忙の際一日がかりで一里も二里もロハで選擧しては居れぬそれより棄權した方が良いといふ考を持つて居る人が多い、こんな所から魔の手は伸びて行くのかも知れぬし棄權も多い事になるのであらふ。

× ×

政見發表演說で穿つた事を言ふのは萩原候補であつたと記憶して居る、なか〳〵理路整然たる所がある、野崎候補は鈴木辰三郎氏を稱揚して居つたが何だか解せぬ所だ、まさか×線問題の共同戰線からでもあるまい、鈴木辰三郎氏は至る所の演說會で官紀紊亂についてそれが統計を擧げて殊に稅務監督出張所員の橫領着服の事實ありと極言しつゝあるが實際ありとせば官權がこれを默認するとは怪しからぬ、一步進んで鈴木氏が縣參事會員の要職にあり眞にこれありとせば何が故に告發の擧に出でぬか、此の点聽者の不思議とする處である非上候補が資金の豐富ならざるにかゝはらず今日の戰ひを續けつゝあるは一般有力者の同情の賜で氏が平常物的にてん淡にして野心なきためこれ氏の德とする處であるこの意味に於て人は平常が肝心と申すべきである。

× ×

愈々支那の暴擧に對して帝國は癇癪玉を破裂して彼れを懲らすべく出兵するに至つた、古い言葉でないが暴には暴を以て酬ゆるより他に術はないのである、やれ〇〇派だ〇〇派だと主義の爲渦中に投じつゝある人は尠いであらふから開くれば嵐の後で平和に歸して擧國一致外患に當るべきで雨降つて地固まつて欲しいものである。

× ×

此の分ならば地方稻作も平年作に行きさりとの事天高くして馬肥ゆ、蚊も蠅も居らなくなり、光風明月、燈火親しむの秋！吾人各自の天職に向つて共存共榮より以上よりよき世相が來て欲しいものである。

一葉落ちて天下の秋を知り、二葉落ちて世界の秋を知る、月光水の如く流るゝ夜半、深思靜觀するごき虫の聲チヨロチヨロ〳〵悲哀の曲、『極』誰れか斷腸の思ひせざるものあらんや、この自然の偉大のうちに眞理に立脚して強く正しく生きてこそ人生は意義あり生れ甲斐あるものではあるまいか

立花嘉美氏永眠

磐中第十八回卒業生小名濱町出身立花嘉美氏は今回永眠本二十五日東京市小石川區雜司ヶ谷町一二五の自宅に於て告別式を執行、氏は早大卒從同校文學部の教授の職にあり平沼涉郞氏の引立あり將來ある人として其の死を惜まれて居る、因みに磐中同窓會長諸橋久太郎氏は同家に對し弔電を發し哀悼の意を表した。

平町田町
高久病院
電話五一三番